

令和4年度 第1回協議会・区民部会(書面開催)の結果

1. 実施概要

令和4年度第1回協議会・区民部会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、書面での開催とし、意見照会シートにてご意見等をいただきました。実施概要は以下の通りです。

表 第1回協議会・区民部会 実施概要

日付	令和4年7月20日(水) 資料送付	
議題	(1) 今年度以降のバリアフリー推進における進め方 (2) 区民部会の進め方	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 北区バリアフリー基本構想推進協議会 委員名簿 ・ 北区バリアフリー基本構想推進協議会 設置要綱 ・ 資料1 今年度以降のバリアフリー推進における進め方 ・ 資料2 区民部会の進め方 ・ 参考資料1 北区バリアフリー基本構想【全体構想】【各地区別構想】の概要版及び 重点整備地区図 ・ 意見照会シート 	
出席者	<p>[委員] (敬称略・順不同) 高橋儀平、野口祐子、丹羽菜生、井上良子、田中淳子、小田政利、藤沼三郎、遠藤吉博、大八木剛、吉田耕一、丹野克哉、誉田加奈子、花山明弘、高岡和宏、山中將男、河奈正道、松本晴光、尾花秀雄、宮澤豊、飯箸俊一、倉林巧、田名邊要策、長嶋和宏、鈴木孝子、萩原朝子、池田勝彦、大友陵、岩澤一嘉、杉戸代作、稲垣茂孝、荒井和也、川島規文、山下清二、菅原智、沖田浩嗣、篠原睦、山本康裕、與田伸子、久武雅人、坂口央、楠本晋平、佐藤智彦、清水孝彰(区民部会)、太田雅一(区民部会)</p> <p>[事務局] 北区まちづくり部都市計画課：梶尾課長、川島主査、今井主任、奈良主事</p>	
意見照会結果	内容	件数
	(1) 今年度以降のバリアフリー推進における進め方 【議題(1)及び資料1】	14人16件
	(2) 区民部会の進め方【議題(2)及び資料2】	16人18件
	(3) その他	10人10件

2. 第1回協議会・区民部会での意見等と事務局回答

(1) 今年度以降のバリアフリー推進における進め方【議題(1)及び資料1】

番号	意見等	事務局回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度の「まちあるき点検」ですが、本文にある「バリアフリー化が進んだ施設・経路」のみでなく「バリアフリー化が進んでいない施設・経路」も追加して下さい。バリアフリー化が終了した施設や経路は評価・検証ということになりますが、進んでいない施設や経路を改めてその停滞理由の共有化を図っておきたいです。ただ多くの地域や施設が進んでいない施設・経路に該当すると思われるので、担当課として今後早い段階で事業者や区民の理解を得たいと優先的に判断している施設・経路を再確認して検討下さい。是非よろしく申し上げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和7年度に実施予定の最終評価、及び令和8年度に予定している次期基本構想の検討に向け、バリアフリー化が進んだ施設・経路に加え、バリアフリー化に向けた更なる改善が必要な施設・経路もまちあるき点検の対象として検討します。また、来年度のまちあるき点検の対象施設・経路の選定にあたっては、区民部会委員や特定事業者の要望を考慮して検討します。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 「バリアフリー化が進んだ施設・経路を中心に」とありますが、未施工部分の点検も行い、その原因などを考え基準の見直しも検討すべきではないでしょうか。公共施設において区民が使える Wi-Fi 環境整備が至急求められると思います。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ● まち歩き点検は、資料1ページによると、バリアフリー化が進んだ施設・経路を中心に実施としているが、まち歩き点検を実施し、例えば、地区ごとにバリアフリー化されていない箇所とその整備方法などについて検討するのではなく、整備後の課題を抽出することが主たる目的との理解で良いか？ 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー化が進んだ施設・経路を中心に毎年度まちあるき点検を実施することのことで、今年度は赤羽台けやき公園周辺が候補になっていますが、もっと幅広く、当事者の方から点検すべき場所をあげていただき、それを優先順位をつけ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 来年度のまちあるき点検の対象施設・経路の選定にあたっては、区民部会委員や特定事業者の要望を考慮して検討します。

番号	意見等	事務局回答
	<p>て点検をおこなうことができると思います。そのプロセスも公表していただきたいと思います。コロナ禍において、障害のある方、高齢の方の外出行動が変化しています。外出を控えることが多くなっていますが、外出するとすればこれまで以上に地域で活動することが増えているのではないかと考えます。その実態を調査する必要があると思いますし、それにあわせたまちの点検が必要であると思います。</p>	
5	<p>● バリアフリー化が進んだ施設・経路のみならず、地区計画等のまちづくりが検討されている地区については、バリアフリー化の進捗に関わらずまちあるき点検の対象にして頂きたいと思います。まちづくりの基盤整備が5～10年先までかけて行われる地区は、整備に合わせた面的なバリアフリー化も進めやすく、次期基本構想の中で重要な地区になると思います。整備前から課題を抽出しておくことが必要です。</p>	<p>● 今年度のまちあるき点検については、バリアフリー化が進んだ施設・経路に加え、バリアフリー化に向けた更なる改善が必要な施設・経路もまちあるき点検の対象として検討します。また、来年度のまちあるき点検の対象施設・経路の選定にあたっては、いただいたご意見も参考に、区民部会委員や特定事業者の要望を考慮して検討します。</p>
6	<p>● 資料 1、2 ページ、1-2、図 1-2 より『下段左側の枠内の記載「区民や利用者の目線から、」について思うこと』今まではまち歩き点検等を含め、委員各自の所属として、また、生活者としての“気づき”を中心とした意見をまとめてきたと理解していますが、そこで今年度以降の問題点の新たな抽出方法の提案です。積極的な「利用者目線」の意見収集により“新たな気づき”があると考えます。例えば(案1)まちあるきインタビュー、(案2)エリア委員の募集(候補としては各町会長・各公営住宅自治会長など) ※時代の様相が変化しています。今年度以降の問題点も常に変化してゆくと思</p>	<p>● 利用者目線での“新たな気づき”の収集方法について、ご意見を参考に検討します。</p>

番号	意見等	事務局回答
	います。(案2)以降のアイデア出しについても議論を頂きたいと考えます。	
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 「赤羽台けやき公園周辺の施設・経路の点検と意見交換」となっていますが、経路というのは駅からの経路ということで宜しいでしょうか。インターロッキングブロック部分も通りますか。経路はうまく作られていると思いますが、不陸などで車椅子使用者の利用がスムーズかどうか、当事者の方にもご確認頂けたらと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤羽駅から赤羽台けやき公園までの経路となっており、バリアフリー化が図られた「区道1555号 うつり坂」の点検を予定しています。その他、バリアフリー化が進んでいない経路の点検についても検討します。
8	<ul style="list-style-type: none"> ● まちあるき点検に参加し、更なる課題を検討したいと思えます。又、災害時に設置されるであろう避難場所への経路の安全性等も今後の課題かと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちあるき点検への参加についてよろしくお願いたします。災害時における避難経路については、「東京都北区地域防災計画」にて、道路・橋りょう等の安全性の強化を引き続き実施することになっています。
9	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍により、まちあるき点検結果やその他の取組が開催できない為状況の確認ができない場合の、現行基本構想の最終評価や、次期基本構想策定に向けた検討をどう行うか、代替案があれば教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ感染状況を考慮し、まちあるき点検が実施できない場合は、事務局による現地確認を行い、確認結果を委員の皆様へ共有し、ご意見をいただく、または委員の皆様任意で現地を確認し、ご意見をいただく、あるいはリモート形式とし、カメラで現地の様子を撮影・確認することなどを現時点では考えております。また、協議会については、リモート形式での開催も検討します。
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体構想の段階から心のバリアフリーに加えて「情報」のバリアフリーについて盛り込んできましたが、5月に「障害者情報アクセシビリティ法」が施行されました。まちづくりにおいてもソフト面での対応が一層進められていけばと思います。今回、PDF形式で資料送付を希望させていただきましたが、ご対応いただき、白黒反転、文字の拡大でスムーズに資料にアクセスできました。区の 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、合理的配慮の徹底や情報のバリアフリーについて推進していきます。


番号	意見等	事務局回答
	<p>様々な会議体でも、障害の種類や程度に応じた手段の選択ができるように押し進めていただければと思います。</p>	
11	<ul style="list-style-type: none"> ● 上中里、尾久駅周辺生活関連施設、尾久駅地下道、高齢者、障害者をはじめとする多様な利用者「うんぬん」、多様な機会を通じて働きかけとあるが、何年かけて働きかけするのか？「気づき」を共有し、カタチにするまち北区、「何とするか」？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区別構想の特定事業等は、設定した実施時期（短期：平成30～令和2年度、中期：令和3～7年度、長期：令和8年度以降）での整備完了を目標としており、区では事業の着実な実施に向けて定期的に進捗状況を把握しています。また、区民部会・事業者部会合同意見交換会において、関係事業者に障害疑似体験をしていただいたり意見交換をおこなうなど、事業者への障害理解の実践にも取り組んでいます。今後も機会をとらえ、バリアフリーに取り組む事業者等への障害理解の実践の場を設けていきます。なお、尾久駅の地下通路のバリアフリー化については、事業主体である東日本旅客鉄道株式会社にご意見があったことを共有させていただきます。
12	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤羽台けやき公園周辺とした理由は？周辺のまちづくりを進めており、現状を確認するのは構わないが、今後大分変わると思う、、まち推とは調整済みというコトで良いか。工事中の箇所なども出てこないか？（短期的に工事中の状況や安全確保策を見たいなら別だが）。滝野川三丁目公園周辺の方が、動きが無いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー化が進んだ施設として、今年整備が完了した「赤羽台けやき公園」を点検対象施設として考えていますが、現時点の候補であるため、ご意見を参考にさせていただきながら、今後詳細な検討を行った上で決定します。
13	<ul style="list-style-type: none"> ● 「こころのバリアフリーの取組」は、具体的に何を想定しているのか？主にソフトだと思うが、誰が、どう実施をするのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民部会では、過年度の取組成果としてVRによる啓発動画を作成しました。今後は、VR動画活用による啓発活動や、児童・生徒・当事者参加による教育・啓発活動のソフトの取組みへの展開を予定しています。区民部会委員が主体となり、学校関係者の協力を得ながら実施します。具体的な実施方法等については今

番号	意見等	事務局回答
		後調整、検討します。
14	<ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールでは、4年度点検。5～6年度は点検・整理。7年度整理となっているが、最終評価時点では、最大3年経過しており、まちの状況も大分変わっていることが想定されるが、その点はどうか考えれば良いか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回のまちあるき点検で把握した課題は、今年度中に関係事業者に共有し、可能な範囲で改善をご検討いただきます。また、他施設にも共通するバリアフリー課題については、施設共通の配慮事項として最終評価への反映を検討します。
15	<ul style="list-style-type: none"> ● 整備後にまち歩き点検を実施し、抽出した課題を受け、その後すぐに改修するなどの措置が取れるのか？次の整備に活かすということだけなのか？ 	
16	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー化の進捗確認と併せて、整備の教訓を抽出・整理することは大変重要であると思います。その時の出た意見を改善に向けたヒントやポイントとして整理することができると、次につながると思います。図1-1の下に、示せるとさらに効果的ではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー整備における教訓イメージについて、関連する区民意見についても整理できるような構成について検討します。

(2) 区民部会の進め方【議題(2)及び資料2】

番号	意見等	事務局回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 2-2 についてはもう少し具体化した方がいいと考えています。特に VR についてはコロナ禍の問題もありますが、対面で他の障害のある人の声を取り入れるなど、昨年度までの啓発活動からの積極的な転換を求めます。新たな教育啓発特定事業の一環として、本格的に北区の特徴である障害者施設や特別支援学校の活用や通常の小中学校の教育活動との連携調整を図る方策を検討して頂きたい。一気にいきませんが、今年度何とかその足掛かりをつけて下さい。区民部会、校長会や教育委員会等での調整をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を踏まえ、関係機関との調整を図り、具体的な実施方法等について検討します。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 小さい時からいろいろな人と育つことで、自然と障害者への理解、配慮等が育つと思います。インクルーシブ教育に期待しています。又、これまでの取り組みの一層の推進を図ると共に、諸機関に提言していきたいと思います。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ● こころのバリアフリーに関する取り組みについて、コロナ感染拡大以前に、若者に対するこころのバリアフリーの啓発方法として VR の活用を模索した経緯がありますが、コロナの感染拡大で障害のある当事者が対面で啓発活動に関わることができない状況となり、その対策としても意味があったと思います。コロナ感染の状況はこれからも続くと思いますので、当事者の発信の手段として、zoom や動画を使うなど、コロナ禍にあわせた方法を模索するとよいと思います。そうした手段を使うことで、参加しやすくなる当事者もおられると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● VR 動画を活用した啓発活動に加え、令和3年度の王子第一小学校施設見学会では、zoom を活用し、リアルタイムで施設の状況を画面上で確認するなどの工夫を試みました。引き続き、コロナ感染状況も踏まえつつ、有効な実施方法について検討していきます。

番号	意見等	事務局回答
4	<ul style="list-style-type: none"> ● VR 動画が啓発に有効かどうか、どのように確認され、認識されているか教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● VR 動画について、区民部会委員の他、日本工業大学に在籍する学生にも体験してもらい、アンケートに回答してもらいました。結果としては、車いす使用者の状況がよく分かった、車いす使用者の気持ちに共感した、などのご意見をいただいております。詳細については北区バリアフリー基本構想【中間評価】の98ページにもまとめておりますので併せてご確認ください。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● まちあるき点検候補地として以下を提案します。 <ul style="list-style-type: none"> ①地区計画等のまちづくりが検討されている地区 <ul style="list-style-type: none"> ・旧赤羽台東小学校跡地周辺 ・桐ヶ丘一・二丁目地区地区計画区域 ・十条地区まちづくり基本構想の対象区域 ・王子駅周辺まちづくりガイドラインの対象区域（特に先行実施地区） ②事業完了箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・浮間舟渡駅と駅前広場 <p>駅前広場の歩道のインターロッキング舗装のがたつきは解消されたものの、同時に街路樹が撤去され、特に真夏は暑く歩行環境が不快になったとの意見があります。今後は歩道の段差解消と街路樹・木陰の確保の両立を図るべく、課題を出し合っておきたい場所です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度のまちあるき点検については、バリアフリー化が進んだ施設・経路に加え、バリアフリー化に向けた更なる改善が必要な施設・経路もまちあるき点検の対象として検討します。また、来年度のまちあるき点検の対象施設・経路の選定にあたっては、いただいたご意見も参考に、区民部会委員や特定事業者の要望を考慮して検討します。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● このコロナ禍で、全ての事が計画通りにいかない中でまた新規感染者数の増大等により、まちあるき点検や、こころのバリアフリーに関する意見交換会や勉強会・ワークショップ等が開催できなくなった場合の代替案は、何か、ご計画はあるのでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ感染状況を考慮し、まちあるき点検等が実施できない場合は、事務局による現地確認を行い、確認結果を委員の皆様へ共有し、ご意見をいただく、または委員の皆様任意で現地を確認し、ご意見をいただく、あるいはリモート形式とし、カメラで現地の様子を撮影・確認することなどを現時点では考えております。

番号	意見等	事務局回答
		す。また、協議会については、リモート形式での開催も検討します。
7	<p>● 最近、街でよくヘルプマークを見かけるようになり、心のバリアフリーに大きな効果があると思っています。これまで、認知症に関してはオレンジリング、認知症サポーターカードや、「介護中」のマークなど、サポーターや介護者のためのマークはあったのですが、認知症当事者のマークはあまり広がっていませんでした。認知症の方を心のバリアフリーによって地域で見守るには、当事者であることを地域で認識する必要があります。認知症専用のヘルプマークを所持することで、認知症である説明の手間が省け、地域の方々の声掛けがしやすくなり、事故を未然に防ぐことができると思っています。</p>  <p>(Odawara 若年認知症サポートプロジェクトの「ヘルプキーホルダー」を参考に、北区の「こんちゃん」に入れ替えてみました。)</p>	<p>● ご意見を踏まえ、庁内の福祉関係所管と調整、検討します。</p>
8	<p>● 先月、国土交通省から心のバリアフリーに関して、施策のガイドラインや実践マニュアルが公開されたと聞きました。部会としても概要を共有できればと思います。</p>	<p>● 国土交通省が作成した「教育啓発特定事業の実施に関するガイドライン」の内容について、次回部会の参考資料とするなど、周知方法について検討します。</p>
9	<p>● 心のバリアフリーにおいて、取り組み対象学校が区立小、中学校迄でなぜ、高校まで広げないのですか？高齢者や障害者を直接援助するには高校生くらいでないと難しいと思う。</p>	<p>● 「教育啓発特定事業の実施に関するガイドライン」に示されているように、バリアフリー教室などのところのバリアフリーの取組みは、子どもから大人まで、また行政や公共交通事業者の職員等も含め、多様な参加者が高齢者や多様な障害者等の日常生活や社会活動における社会的障壁（バリア）に関わる体験を通じて社会的障壁について気づくことが重要です。第一段階として、まずは小</p>

番号	意見等	事務局回答
		<p>中学校を対象とした実施を想定しておりますが、今後高校も含めた多様な参加者について検討します。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 滝野川地区、尾久駅周辺バリアフリー、遅れている。地下道（尾久駅）は、貝塚からの高齢者が通うのが大変、特に貝塚高齢者が多く、早く取り組んでもらいたい。北区の場合、赤羽駅廻り、王子駅廻り、バリアフリーが進んで整備されていると思います。生活関連、特に尾久駅周辺見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区別構想の特定事業等は、設定した実施時期（短期：平成30～令和2年度、中期：令和3～7年度、長期：令和8年度以降）での整備完了を目標としており、区では事業の着実な実施に向けて定期的に進捗状況を把握しています。また、区民部会・事業者部会合同意見交換会において、関係事業者に障害疑似体験をしていただき意見交換をおこなうなど、事業者への障害理解の実践にも取り組んでいます。今後も機会をとらえ、バリアフリーに取り組む事業者等への障害理解の実践の場を設けていきます。また、次期基本構想策定に向けた検討の中で、生活関連施設・生活関連経路の見直しや追加事業の設定等について検討します。
11	<ul style="list-style-type: none"> ● まちあるき点検について、過去に「まちあるき点検」を数回実施しておりますが、参加者は、どの様な構成になっているのでしょうか。今年度より委員になったためご教示願います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでのまちあるき点検は、区民部会委員が主体となり、有識者、高齢者・障害者団体、区民、関係行政機関等に参加いただきました。今年度のまちあるき点検については、調整次第共有していきます。
12	<ul style="list-style-type: none"> ● こころのバリアフリーに関する取組について、過去の経緯はわかるが、評価（あるいは成果）についてはどう考えているか 	<ul style="list-style-type: none"> ● こころのバリアフリーに関する取組における成果や課題については、最終評価でとりまとめ、次期基本構想の策定に向けた検討の際に活用していきます。
13	<ul style="list-style-type: none"> ● こころのバリアフリーの取組みの方向性については、区民部会で検討することとなるとしているが、事務局としての腹案はあるか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民部会が主体となって検討するなかで、事務局としては関連する情報の提供や調整等を行うなど取組の実現に向けた支援を行います。
14	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度の区立小・中学校におけるVR動画を活用した啓発活動は、全ての小・中学校で実施したのか？実績を教え 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度は、学校長会を通じて依頼を行い、各学校で検討いただきましたが、実施には至りませんでした。今年度も引

番号	意見等	事務局回答
	てほしい。	き続き調整を行います。
15	<ul style="list-style-type: none"> ● ころのバリアフリーについて、令和3年度に取組まれた区立小中学校におけるVR動画活用における啓発活動がどうであったか（実施状況）？令和4年度以降、上記の活動がどのように一般化されていくのか？知りたいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度は、学校長会を通じて依頼を行い、各学校で検討いただきましたが、実施には至りませんでした。今年度も引き続き調整を行います。また、啓発活動を展開していくなかで取組の一般化に向けた検討も進めていきます。
16	<ul style="list-style-type: none"> ● いつもお世話になっております。赤羽台けやき公園では、工事段階で設計変更を行い、車いす使用者用トイレへの大型ベッドの設置や、インクルーシブ遊具も区内で初めて導入しました。使い勝手、利用導線などをご確認いただき、良い点や気になった点などご教示くださいますようお願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちあるき点検では、車いす使用者用トイレへの大型ベッドの設置や、インクルーシブ遊具についても現地確認を行う予定です。まちあるき点検における意見等は、施設設置管理者等にフィードバックしていきます。
17	<ul style="list-style-type: none"> ● ころのバリアフリーに関する勉強会やワークショップの風景や意見交換の状況を簡単にまとめ、動画配信（10分程度）を区のHPで公表することで、成果の情報発信がさらに進むのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を踏まえ検討します。
18	<ul style="list-style-type: none"> ● ①車道と歩道の段差の高さを低くするか、段差自体をなくす方が良い。車イスの方が乗り越えるのに苦労している姿をよく見かけるため。②歩道橋へのエレベーター設置、高齢者の方が、登るのが大変とよく言っているため、車道等を渡る人もいて危険です。以上、実際に点検する時に御検討ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちあるき点検を実施する際の参考とさせていただきます。

(3) その他

番号	意見等	事務局回答
1	<p>● どの交通会社も研修等実施している事と思いますが、先日、障害手帳を見せて公共交通機関を利用された方が運転手から舌打ちをされたとの話を聞きました。多くの障害者にとって収入の所得補償が十分でない現状において、交通機関を利用する際に割引制度を使いづらく感じる体験をすることは、外出する機会を減らすと言う選択をさせてしまう事に繋がってしまうだろうと思います。今後「こころのバリアフリー」がしっかりと地域社会に浸透していくと良いなと思います。※協議会で取り上げて欲しいとかではありませんが、ご報告まで。</p>	<p>● 引き続き、人的対応・心のバリアフリーの推進に取り組んでまいります。</p>
2	<p>● 今回も新型コロナ感染拡大を理由に書面開催となってしまいましたが、オンライン会議での開催を検討すべきです。なお、オンライン会議は新しい日常の会議手段として定着しているため、今後は会場とオンラインのハイブリッド開催を基本とし、今回のような感染拡大中は完全オンラインにするなどの対応をお願いします。</p>	<p>● 協議会は、リモート形式での開催を検討します。</p>
3	<p>● 資料 1、2 ページ、1-2、図 1-2 区民部会の人員構成についての記載、下段右側「協議会委員のうち、」について、私は協議会委員ではありませんので確認させていただきます。区民部会員 21 名中 19 名の方は協議会委員兼務と認識していますが、私を含め 2 名のみが、区民部会専任の所属と理解しています。よって人員構成の定義について再確認させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>	<p>● その認識で間違いありません。資料 1 の当該記載について修正します。</p>
4	<p>● 区民部、これから北区の町会自治会の運営が出来なくなる所がかなり出てくると思います。(何年も先になるが)。その</p>	<p>● ご意見を踏まえ、庁内の関係所管と調整、検討します。</p>

番号	意見等	事務局回答
	点、役所として考えて行く必要があります。	
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚障害者のバリアフリーに関連して、信号機からスマートフォンに信号情報を提供する「歩行者等支援情報通信システム」の対応信号機の設置要望について、区議会本会議で質問がありました。設置状況について、警察の方などからお話を伺いたいと考えています。あわせて、「歩行時間延長信号機」の設置状況や、「歩行者等支援情報通信システム」との設置の兼ね合い(どちらを優先して整備していくか等)について、お話を伺いたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見ありがとうございます。状況について把握できましたら、共有いただければと思います。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 参考資料1について、地区別構想の概要版の第3章、生活関連施設及び生活関連経路の設定の主要な生活関連経路の推進方法で、「基本構想制度を活用し、バリアフリー化に関する特定事業等を設定する。」とあるが、「基本構想制度を活用」とは、具体的にどのようなことなのか？※この会議のメンバーとなるのは初めてですので、1、2、3とも基本的な質問になってしまっていますが、よろしくをお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー法第25条の2において、基本構想には生活関連施設、特定車両及び生活関連経路を構成する一般交通用施設について移動等円滑化のために実施すべき特定事業その他の事業に関する事項を定めるものとしています。これに基づき、基本構想で特定事業等を設定し、バリアフリー化を推進します。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の保護者の方からのお話で、公共施設等でバリアフリーのトイレが増えていたことはありがたいが、実際使用してみると、大人用車いすと介助者で使用するには狭かったり、紙パンツ交換用の台が子供用の大きさに、中高生以上の方では使えなかったりした。施設内にバリアフリーのトイレがなく、施設の方に相談すると「特別にこちらの部屋を使っています」と言われて部屋を使うことができたが、「特別に」と言われて心苦しく感じた。など、「トイレ」に関する相談がよく聞かれます。(上記は北区の方というわけではありません)。車いすの方 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車いす使用者が円滑に利用できるトイレの設置(十分な広さ、大型ベッドの設置など)については、移動等円滑化に向けた共通の配慮事項や特定事業等に設定しており、引き続き整備を推進していきます。

番号	意見等	事務局回答
	<p>が気兼ねなく使えるトイレ、トイレに代わる部屋についても検討事項に入れていただけるとありがたいです。(心のバリアフリー含め)。よろしく願いいたします。</p>	
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民部会と連携して、整備箇所を点検して整備結果を検証するという方法は、区ならではの取組かと思えます。今後の成果や課題等の整理について、注目していきたいと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、よろしく願いいたします。
9	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後とも地区のバリアフリー事業推進に、微力ながら弊社も協力して参ります。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後のスケジュールをもう少し詳しく教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後は、10月頃に第2回区民部会(まちあるき点検)、年始に第2回協議会の開催を予定しています。詳細なスケジュールについては、決定次第共有いたします。